

三重大生が#写真投稿サイト#

津の「お宝」インスタ映え

三重大生が津市の隠れた魅力を写真投稿サイト「インスタグラム」で発信する取り組みを始めた。街を歩いて見つけた店や場所を学生目線で広めていく。学生たちは「知らないだけで、津にもいいところがたくさんあるんだと、知ってもらえたら」と意気込んでいる。(斉藤和音)

古民家カフェや専修寺発信

「#インスタ映えする女子学生の休日 時間がゆつくりで心地いい。おしゃれな店内はインスタ映え間違いなし」

八月十七日に投稿した写真では、津市大里窪田町の古民家を改装したカフェを紹介。温かいオレンジ色の明かりがとる店の外観や食事の写真三枚を投稿した。「創業当時からあるハンバーグはふわふわした優しい味。素材にこだわってるデザートも格別」と添えた。

投稿しているのは、人文

学部文化学科三年の佐野彩華さん(二〇)と榎莉央さん(二〇)、松本千賀子さん(二〇)の三人。地域活性化に取り組む同大の三重創生ファンタジスタクラブに所属する。山梨や愛知、奈良県の出身で県外の短大や専門学校などから今春、三重大に編入し、津市で生活を始めた。

「飯や遊びに行こうとした時、「どこに行けばいいんだろ」と悩むことが何

度もあった。

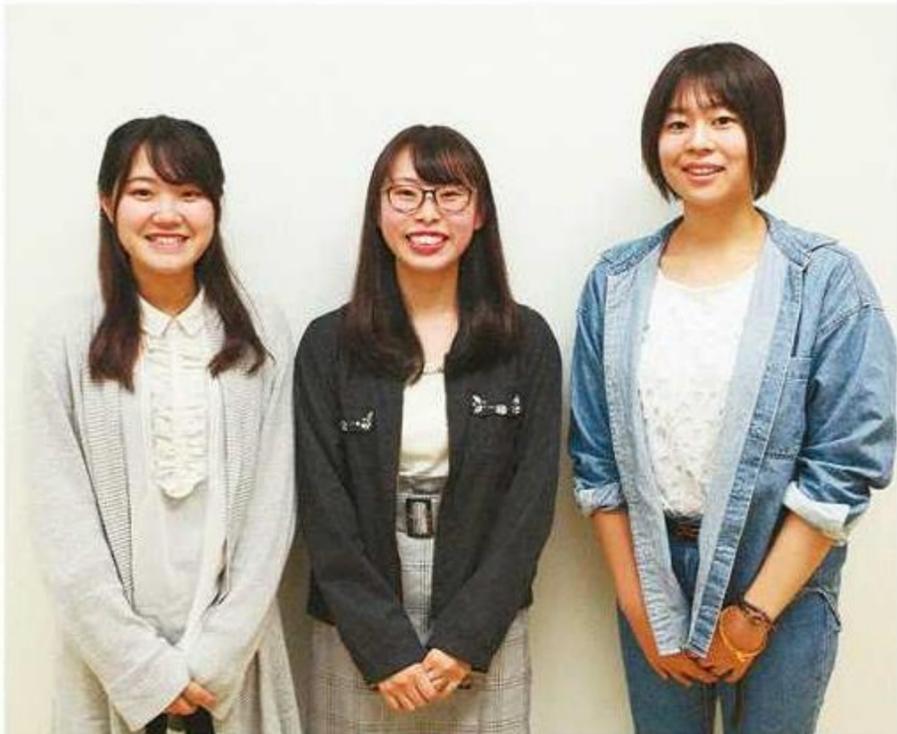
「伊勢神宮は知っているけれど、津には何かがあるの」と県外の友人に聞かれても、すぐに答えられない。自分たちが必要としている情報を、若い世代にも身近なインスタを使って発信していこうと、八月から毎週金曜に投稿を続けている。

取り上げるのは、三重大から自転車で行ける距離にある高田本山専修寺や津城やその周辺を歩いて気になった店などだ。香りに誘われて訪れた醤油工場では、団子売っているのを発見

したことも。地図で分からなかったり、車では見過ごしてしまったりしそうなお宝も掘り起こす。

写真の撮り方や投稿の順番、時間帯は人気のインスタを見て研究したり、目を引く一枚を求めて百枚以上撮影したりするなど、試行錯誤を重ねている。

三人は「津のどこかに行こうと思った時、このインスタを見れば一目で分かるようになれば。私たち自身も、これから隠れた魅力を見つけていきたい」と話す。アカウントは「msfc003」で検索。



津市の魅力を発信するインスタを開設した(左から)佐野さんと榎さん、松本さん。津市栗真町屋町の三重大で



カフェの紹介には、「#健康を気にしながらおしゃれに食べたいあなたに」のハッシュタグ。津市栄町のキッチンワークペコリーノで



インスタグラムに投稿された専修寺。津市一身田町で